

四 単元の指導計画・評価計画

指導事項 2, 3年Aウ 話の内容や意図に応じた適切な語句の選択, 文の効果的な使い方など説得力のある表現の仕方に注意して, 話したり聞き取ったりすること。
 言(1)エ 相手や目的に応じて話や文章の形態や展開に違いがあることに気付くこと。

単元の評価規準 ○話の内容や意図に応じて, 説得力のある表現の仕方に注意して, 話したり聞き取ったりしようとしている。
 ○わかりやすい表現や相手の反応に留意して話したり聞いたりすることができる。
 ○相手や目的に応じて話や文章の形態や展開に違いがあることに気付くことができる。

配時	具体的評価規準 (評価の方法)	学習活動(言語活動)	指導上の留意点	(関心・意欲・態度)	(話す・聞く, 書く, 読む, 知識・理解・技能)	
					十分満足できる状況【A】	おおむね満足できる状況【B】
第1次 2 (2)	関:わかりやすく説得力のある構成を工夫しようとしている。 (様相チェック) 話:わかりやすく説得力のある構成を考慮することができる。 (ワークシート①分析)	1 学習のねらいや流れを確認する。 2 発表の全体の構成を理解する。 3 よい構成のポイントを考える。 4 発表の全体の構成を考える。 5 発表用の簡単な絵コンテを作る。 (ワークシート①) 6 班の中で発表し, アドバイスしてもらう。 (ワークシート②) 7 モデルの絵コンテを見る。 8 モデルやアドバイスを参考に, ワークシート①を修正する。 9 学習を振り返る。 (「10 プレゼンテーションソフトを作成する。」は総合的な学習の時間で行う。)	・発表会用のプレゼンテーションソフトはグループで作成するが, 今回はあえて個人で作らせる。 ・司会は発表者の左隣の生徒が行い, 時計回りに司会と発表者を交替させる。 ・ワークシート②による点や修正点をメモさせ, 発表者に手渡しさせる。 ・事前に構成がよい1作品を選んでおく。	・工夫し, 意欲的に構成を考えようとしている。	・聞き手が興味をもち, 十分に理解できる構成を考えている。	・聞き手が理解しやすい構成を考えている。
第2次 1	関:わかりやすく説得力のある表現を工夫しようとしている。 (様相チェック) 話:わかりやすく説得力のあるスピーチ原稿を考慮することができる。 (ワークシート③分析)	1 プレゼンテーションで説明するスピーチ原稿を書く。 (ワークシート③)	・4~5分で発表できる原稿を書かせる。 ・発表会では, 原稿を読むだけではなく, 聞き手の反応を感じ取りながら話すことを確認する。	・自ら進んでわかりやすいスピーチ原稿を考えようとしている。	・プレゼンテーションの内容がイメージでき, わかりやすく工夫したスピーチ原稿の柱を考慮することができる。	・わかりやすく, 伝わりやすいスピーチ原稿の柱を考慮することができる。
1 本時	関:聞き手を惹きつける話し方を見いだそうとしている。 (様相チェック) 話:聞き手を惹きつける話し方を分析することができる。 (ワークシート⑤分析)	2 ワークシート④を読む。 3 ワークシート④と⑤を比較し, 分析する。 4 話術が巧みな歌手のCDを聴く。 5 他の分析結果を聞き, 話し方の工夫を知る。	・CDの内容から表現の工夫を削除したワークシートを準備する。 ・強弱, 速さ, 間の取り方, 繰り返し, 言い換えなどの方法があることを押さえる。	・ワークシートやCDをもとに, 聞き手を惹きつける話し方を意欲的に分析しようとしている。	・強弱, 速さ, 間の取り方, 繰り返し, 言い換えなどをしている箇所に気付き, 印や書き込みが十分にできている。	・強弱, 速さ, 間の取り方, 繰り返し, 言い換えなどをしている箇所に気付いている。
1 (3)	話:聞き手を惹きつける話し方をする。 (ワークシート③分析) (話:聞き手を惹きつける話し方をする。 (スピーチチェック))	6 ワークシート③を修正する。 7 班の中でリハーサルを行い, アドバイスしてもらう。 (ワークシート⑥) (「8 発表会を行う。」は総合的な学習の時間で行う。)	・時間を計り合うとともに, ワークシート⑦に感想やアドバイスを書かせ, 発表者に手渡しさせる。		・聞き手の反応を予想し, ワークシートの修正が十分にできている。 (・時間内に, 聞き手の反応を意識し, 惹きつけながらわかりやすく話すことができる。)	・聞き手の反応を予想し, ワークシートの修正をしている。 (・時間内に, 聞き手の反応を意識しながら, わかりやすく話すことができる。)
1	関:聞き手を惹きつける話し方の大切さを学び, 今後へ生かそうとしている。 (ワークシート⑦分析)	9 相互評価を行うとともに学習全体を振り返る。 (ワークシート⑦)		・聞き手を惹きつけながら, わかりやすい説明をするポイントを理解し, それを今後の学習に生かそうとしている。		

1 本時の具体の評価規準・評価方法

聞き手の反応を意識した表現を聞き取り、聞き手を惹きつける表現の仕方について考えを深めている。
 (様相チェック・ワークシート分析)

2 資料等

- ① 学習の手引き
- ② ワークシート④ (CDの内容から表現の工夫を削除したもの)
- ③ ワークシート⑤ (テープ起こしをしたもの)
- ④ CD(さだ まさし)
- ⑤ CDプレーヤー

3 本時の指導計画・評価計画

過程	学習活動・内容 主な言語活動	指導上の留意点	資料	Aの状況・Bの状況 Cの状況の生徒への手だて	形態	配時
導入	1 本時の目標を確認する。 聞く人をひきつける話し方を身につけよう。	○「学習の手引き」を再度説明し、学習の目的を確認させる。	①		一斉	5
展開	2 ワークシート④を読む。 3 ワークシート④と⑤を比較し、話し方の工夫をしている部分に印をつける。	○黙読後、生徒一人に音読させる。 ○繰り返し、言い換えなどに気付かせる。	② ③	A 繰り返し、言い換えなどをして いる箇所 B 繰り返し、言い換えなどをして いる箇所 C 個でできない生徒は班で相談し、 気付かせる。	一斉 班 ← 個	8 1 0
まとめ	4 全体で確認する。 5 CDを聴き、話し方の工夫をしている部分に印をつける。 6 聞く人をひきつける話し方について話し合う。 7 本時のまとめと次時の予告を聞く。	○線を引かせ、全体で確認させる。 ○強弱、速さ、間の取り方などに気付かせる。 ○色付けさせ、全体で確認させる。 ○次時はワークシート③を修正し、話す練習を行うことを確認する。	④ ⑤		一斉 一斉	8 1 0